

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社広島銀行（証券コード:8379）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
発行登録債予備格付	AA-

■格付事由

- (1) 広島市に本店を置く資金量7.5兆円の地方銀行。広島県のリーディングバンクとして預貸金とも3割の県内シェアを有するほか、隣接する岡山、山口、愛媛にも事業展開している。非金利ビジネスの分野に強みを持ち、地銀トップクラスの非金利収入比率（コア業務粗利益ベース）を長年維持している。格付は、強固な事業基盤、良好な資産の質と資本充実度、比較的高い収益力を反映している。
- (2) 19/3期上半期のコア業務純益は、有価証券利息配当金の減少を預貸金収支の増加で打ち返し、前年同期を若干上回った。ROA（コア業務純益ベース）は0.4%程度と、投資信託の解約益が資金利益に含まれていないことを勘案すると、他の地銀との比較で良好といえる。貸出金利回りの低下を抑制しつつ、中小企業向けを軸に貸出残高を着実に積み上げており、貸出金利息の増加が定着しつつある。また、完全子会社化したひろぎん証券との「銀証連携」を通じて、預り資産販売や相続関連業務などのアセットマネジメント事業を強化しており、非金利収入も堅調に推移している。これらを踏まえると、基礎的な収益は当面底堅く推移するとJCRはみている。
- (3) 金融再生法開示債権比率は18年9月末1%台前半と低い。与信費用は低位で推移している。19/3期上半期では大口先の影響があったものの、与信費用比率は通期換算で8bpにとどまった。構成比の大きい外航海運業については、海運市況に左右されるものの、取引先の船主は手元資金に厚みがあり為替変動に対する耐久力のある先が多いことなどを踏まえると、貸出資産の質が大きく悪化する可能性は低い。有価証券運用では金利リスクを抑制する方針に基づき、円建債券、外貨建債券ともに残高を圧縮している。とりわけ円建債券については、直近2年間の償還が大きいこともあり金利リスクが大幅に減少した。株式と投資信託で価格変動リスクを抱えているが、市場リスク量は資本に対して総じて適切にコントロールされている。
- (4) 適格旧Tier2資本などを控除した調整後の連結コア資本比率は18年9月末10%台前半。内部留保の蓄積により資本は着実に厚みを増している。今後も相応の最終利益を確保し、リスク量対比でみた資本の余裕度は高まっていくとJCRはみている。

(担当) 宮尾 知浩・南澤 輝

■格付対象

発行体：株式会社広島銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	3,000億円	2018年1月8日から2年間	AA-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年1月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社広島銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度についての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル